

Tour of Japan

Stage 3 / いなべステージ 127km

レースを支配しチーム力を見せつけた JCL TEAM UKYO
ファンチェルがステージ優勝し個人総合首位に



レース期間 : 5月20日

距離 : 127km

UCIカテゴリー : 2.2

参加チーム : 16チーム (1 PT, 13 CT, 1 NT, 1 CLUB)

出走選手数 : 95人

JCL TEAM UKYOメンバー : アレッサンドロ・ファンチェル、アンドレア・ダマート、ニコロ・ガリッポ、小石祐馬、シモーネ・ラッカーニ、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督 : マヌエーレ・ボアロ

レース公式サイト : <https://www.toj.co.jp/>

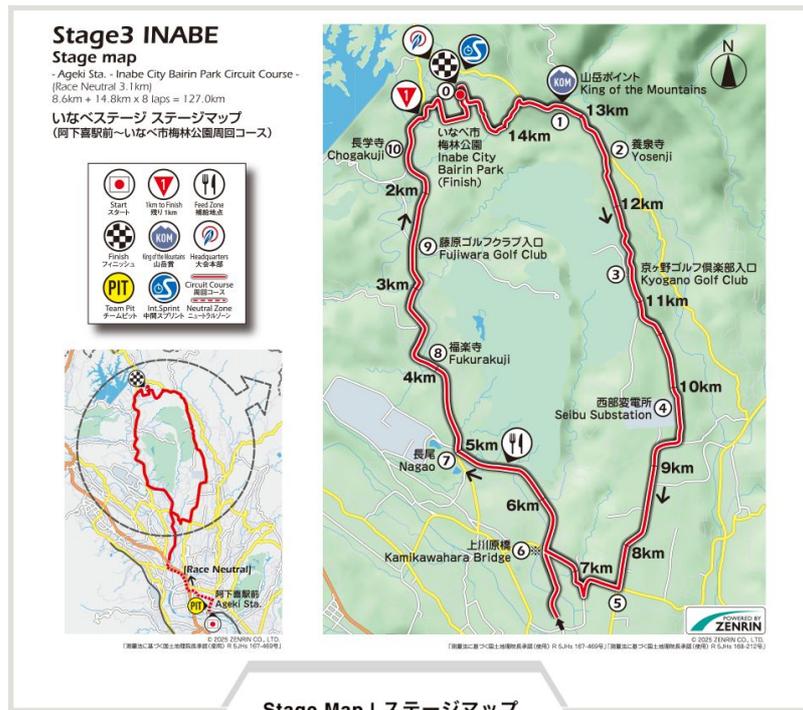
JCL TEAMUKYO公式サイト : <https://jcl-team-ukyo.jp/>

Live : <https://www.youtube.com/@BPAJch/streams>

Photo : <https://x.gd/1KGAs>

日本最高峰のステージレース「ツアー・オブ・ジャパン」 3日目は三重県いなべ市が戦いの舞台となる。いなべステージ名物の劇坂「いなべルグ」を含む、いなべ市梅林公園周回コースを 8周する127kmで行われた。

昨日は僅差の2位でステージ優勝を逃し、今日こそステージ優勝をして個人総合リーダーのジャージを獲得したいJCL TEAM UKYO。全8ステージ前半の山場となるいなべステージは登りでタイム差を稼ぎやすいため、作戦通りチーム全員で積極的にレースを動かした。



日本最高峰のステージレース「ツアー・オブ・ジャパン」 3日目は三重県いなべ市が戦いの舞台となる。いなべステージ名物の劇坂「いなべルグ」を含む、いなべ市梅林公園周回コースを 8周する127kmで行われた。

昨日は僅差の2位でステージ優勝を逃し、今日こそステージ優勝をして個人総合リーダーのジャージを獲得したいJCL TEAM UKYO。全8ステージ前半の山場となるいなべステージは登りでタイム差を稼ぎやすいため、作戦通りチーム全員で積極的にレースを動かした。

序盤の2周目、山岳ポイントで山岳賞ジャージを着るガリッポが単独でアタック、1位で5ポイントを加算し残り7周回へ。

それを機に集団からJCLのガリッポ とファンチェル、マティアス・ブレンホイ(トレンガヌ) ディラン・ホプキンス(Roojai) 岡篤志(ブリツェン)ヨハネス・アダミエツ(レンベ・ラド・ネット)ら6名が逃げ、早くも総合リーダー争いが始まる。集団に最大1分15秒差を広げたが、残り4周で41秒差に縮まる。ネイサン・アール(キナン)が先頭6名に加わり先頭は7名に。

しかし、残り4周に入り7名は集団に吸収され、レースは振り出しに戻った。2回目の山岳賞ポイントでレースは活性化し、ゼライが1位で山岳ポイントを獲得。続いて2位にチームメイトのガリッポ、3位ヨハネス・アダミエツと続いた。その後ゼライが単独でアタック、1人で逃げ続けて20秒差をつけた。ゼライは総合リーダーから16秒差につけており、この瞬間は暫定での総合リーダーとなる。

今日総合リーダージャージを守りたい宇都宮ブリツェンの岡篤志と、総合上位を狙う有力チームの選手たちは脚を使って前を追うしかない。ゼライは先頭で残り3周に入り、タイム差を35秒まで広げたが、残り2周を前に集団に吸収され、ステージ優勝に向けてレースは活性化する。集団内で温存していたファンチェルが再び仕掛ける時が来た。

今日逆転で総合リーダージャージを狙うファンチェルは鋭いアタックをかけ、マティアス・ブレンホイ（トレンガヌ）ミゲル・ハイデマン（レンベ・ラド・ネット）らと3名で集団から抜け出した。瞬く間に30秒差をつけてファイナルラップに入る。

ミゲル・ハイデマンが脱落し、優勝争いはファンチェルとマティアス・ブレンホイの2名に絞られた。3位争いの追走グループにはガリッポがつけていてJCL TEAM UKYOにとっては盤石な体制となる。

最後の登り、ゴールの直線で姿を現したのはファンチェル。優勝を確信し、ゴールラインを切る前から両手でガッツポーズ！ 歓喜の勝利を飾り、ゴール直後はチームメイトたちと喜びを分かち合った。3位にはガリッポが入り山岳賞ジャージを守っている。

ファンチェルのコメント

今日はプラン通り、ステージ優勝と総合リーダーを獲得するためチーム一丸となって攻撃を仕掛けました。途中で捕まりましたが、登りゴールが得意なので諦めずにチャレンジし、勝負所で再びアタックしました。皆で勝ち取った勝利はとても嬉しいです。残り5ステージもチームプレイでベストを尽くします。



TOUR OF JAPAN INABE STAGE RESULT

1. アレッサンドロ・ファンチェル (JCL TEAM UKYO)2時間59分32秒
2. マティアス・ブレンホイ (TERENGGANU CYCLING TEAM)+4秒
3. ニコロ・ガリッポ (JCL TEAM UKYO)+22秒

TOUR OF JAPAN INABE STAGE RESULT RESULT

1. アレッサンドロ・ファンチェル (JCL TEAM UKYO) 5時間41分09秒
2. マティアス・ブレンホイ (TERENGGANU CYCLING TEAM) +0:16
3. 岡篤志(宇都宮ブリツェン) +0:33

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ：KATAYAMA PLANNING株式会社
 田村 遼 (広報) Mail:tamura@kplanning.co.jp TEL:090-44551-4021
 増田 深雪 (広報) Mail:m-masuda@k-planning.co.jp

